

第4回 中心市街地賑わい再生社会実験 専門部会

資料

目次

1. 前回の意見概要
2. ひろば・多目的スペースの利用状況
3. ひろば・多目的スペース周辺地域の環境変化
4. ひろば・多目的スペースの管理・運営
5. 現況課題の整理と今後の進め方
6. その他

平成27年5月26日(火)

松山市 都市整備部 都市デザイン課

1. 前回の意見概要

表 意見概要とその対応について

第3回専門部会での主な意見 (H27.2.13 (金))		事務局の応答	対応結果	
分類	内容			
1. 管理・運営	・社会実験以降の施設貸し出しの無料・有料化など、将来的な運営についてもこの1年で見定めていく必要がある。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占有使用者アンケート調査にて意向等を把握中 Q. 過去に使用した既存施設の利用料金 Q. 当該施設への支払い意志額 ・ 運営時間のニーズ調査を別途実施（結果は後述） ・ 以上を今後の運用を考える判断材料として活用。 	
	・この規模の施設で継続するのであれば、利益も上げて運営していくなど、ある程度、方針を絞った方が良いのではないか。			
2. 活動の方向性	・商店街と連携した活動等は、考えていないのか。	・今後の課題として、取り組む必要がある。	・「スプリングフェスタ」で商店街や既存施設と連携を図り、ひろばでのイベントを開催。	
	・市民から付箋でもらった提案をどれだけ拾えるかが重要であり、市民の喜びや利用の継続につながる。	—	・受付の学生スタッフが企画化に向けて活動中。	
	・ひろばの利用が子育て世代中心であれば、そこをターゲットに変えてもみるなど、トライアンドエラーで色々できる要素がある。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業・店舗・住民アンケートを基に企画主催の参加意向者への働きかけ、様々なプログラムの試行を検討中。（アンケート結果後述） 	
	・ひろばと多目的スペースの色分けをはっきり分けても良いと思う。	—		
	・小さなビジネスをやる場所としての機能があるので、まちの色々な新しいものを試す場としての意味はあると思う。	—		
	・テーマ毎に活動するチームを作るなどの形があっていいと思う。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流会（M's Bar）を企画・実施（過去2回実施）。定期的に様々な方が参加し、松山のまちなかについて考える会として取り組み中。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間交流が実現できる拠点にしていければと思う。 ・ アーバンデザインセンターの方向性として、お金で得られないサービスとして、“交流”を目指すことは、あり得る。 	—			
3. 効果検証	・（本実験での）まちなかの活性化という面に対して、今後、どのように考えているのか伺いたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ3カ月であるため、直ぐに効果は出にくいと考えている。引き続きデータを積み上げ、効果検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺店舗・住民アンケートで、周辺環境の変化（人通り・客層・地域のイメージ等）を把握中。（後述） 	
	・ネガティブな意見を拾っていくことも重要。		—	・アンケート調査等を継続し把握する。
	・どこから来たのか、どうやって来たのかなどの利用者属性を詳細に分析することで、今後の運営のヒントになる。		—	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査項目の追加 ⇒ 来訪手段、駐車・駐輪箇所を追加。
4. 広報	・広報が弱いと感じる。例えば、商店街イベントの広報に学生が参加して一緒にやれるようなことがあれば良いと思う。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付の学生スタッフを中心に情報発信について取り組み中。 ・ まずは、まちなか情報マップを作成中。 	
	・イベント占有使用後のフォローとしてTwitterやFacebookなどのSNSでこちらの動きが見えるようなものや協力者にメルマガを送って繋がりを維持することで、更に口コミで広めてくれることが期待される。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブログをリアルタイムに更新中。 ・ 今後UDCMのTwitterとの連携などを検討したい。 	

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.1 みんなのひろばの利用状況（隔週カウント調査結果）

	平日	休日
月別の変化	<ul style="list-style-type: none"> 平均利用者は、3月（春休みを含む）に約200人/日を記録。 4月以降も100人/日を超える利用者で、賑わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 暖かくなった影響もあり、増加傾向。 4月には、約350人/日の利用者で、賑わっている。
時間帯別・季節別の変化	<ul style="list-style-type: none"> 冬季（1～2月）と春季（3～4月）で時間帯別の利用状況の変化を見ると、各時間帯で平均利用者が大幅に増加。 午前中に保育・幼稚園児の利用があるほか、親子連れの母親の利用などがある。 14時～15時台は、中・高生（春休みが影響）や20代の若者の利用が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時間帯で増減に差異があるが、特に16～17時台の夕方以降に中・高生や20代の若者の利用が大幅に増加している。 特に4月に入って以降、18時でもひろばに座っている方が多く見受けられる。 各時間帯で常に利用者が居る状態になっており、賑わっている。
利用者属性の変化	<ul style="list-style-type: none"> 利用属性の割合を見ると、20歳代以上の利用者割合が高くなっている。 3月に千舟町通り周辺で開催されたスプリングフェスタで周知がひろまった影響もあり、中・高生以外にも大人の利用者の割合が増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用属性の割合は、冬季・秋季で大きな変化はなく、各世代に幅広く利用されている。

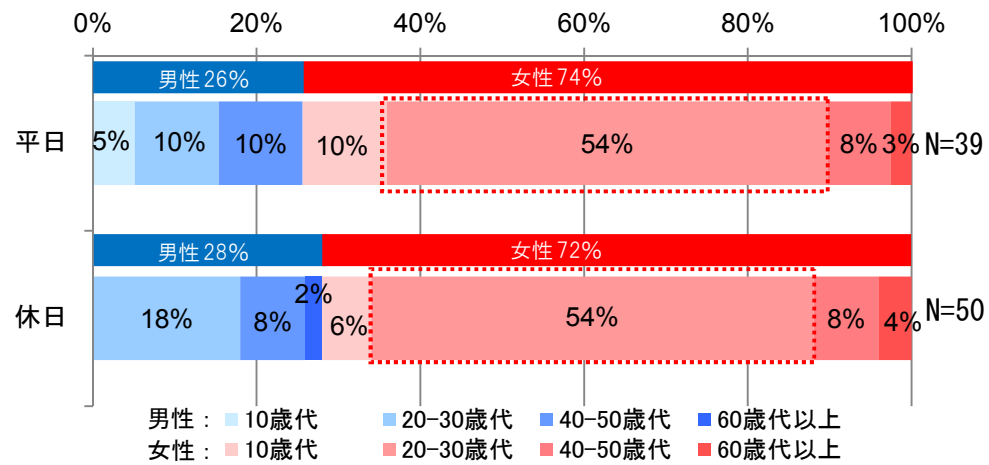
資料：みんなのひろばカウント調査結果（毎月隔週の平日・休日調査）

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.2 みんなのひろばの利用者特性（利用者アンケート調査）

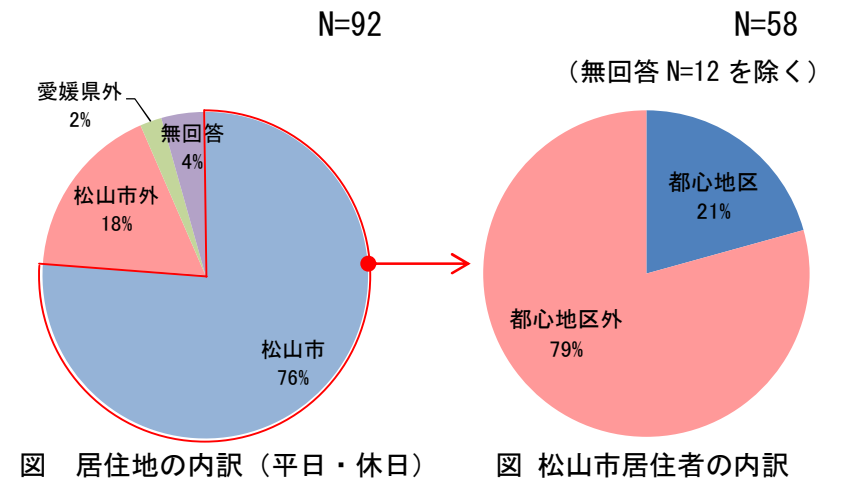
【1】回答者属性

- 平日・休日共に男性が約3割、女性が7割。
- 年齢別では、20～30代女性の割合が高い。



【2】来訪元（居住地）

- 全回答者の約8割は松山市内の居住者。
- うち2割が都心地区に居住する方で、その他8割が都心地区外の郊外からの来訪者。

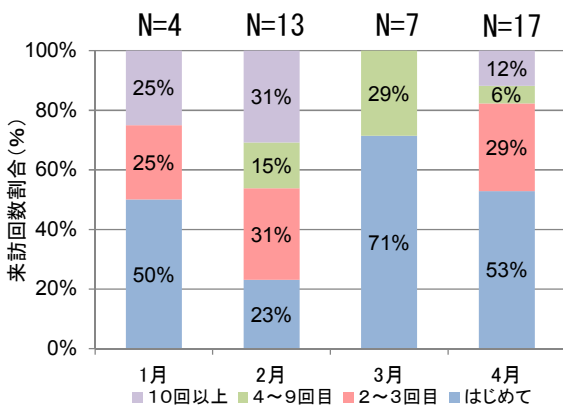


※都心地区：巻末のエリア図参照

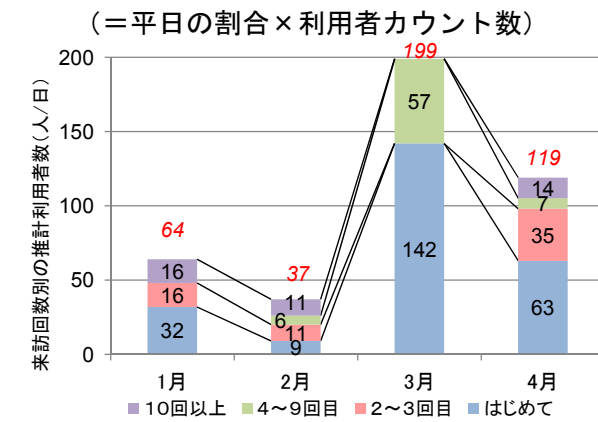
【3】来訪回数

- 4月以降、「はじめて」訪れた方は、平日：約60人（推計値）、休日：約230人（推計値）。
- 休日では、「はじめて」「複数回」が共に増加中。

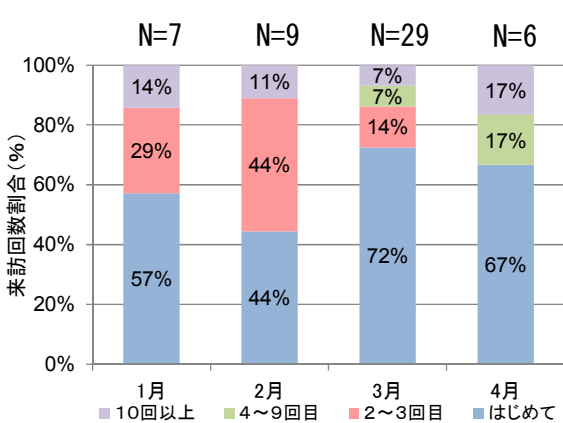
a-1. 平日の来訪回数割合



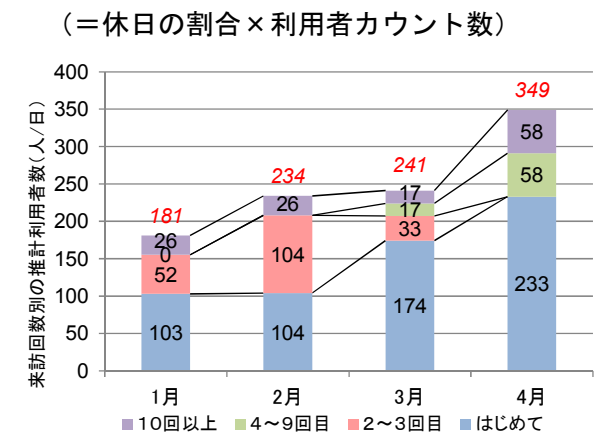
a-2. 平日の来訪回数別の人数（推計値）



b-1. 休日の来訪回数割合



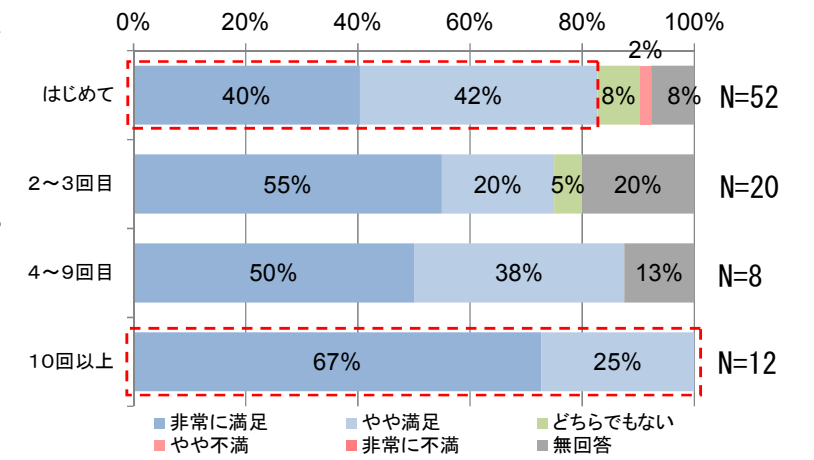
b-2. 休日の来訪回数別の人数（推計値）



注) 推計値のため、四捨五入により合計値が合わない場合がある。

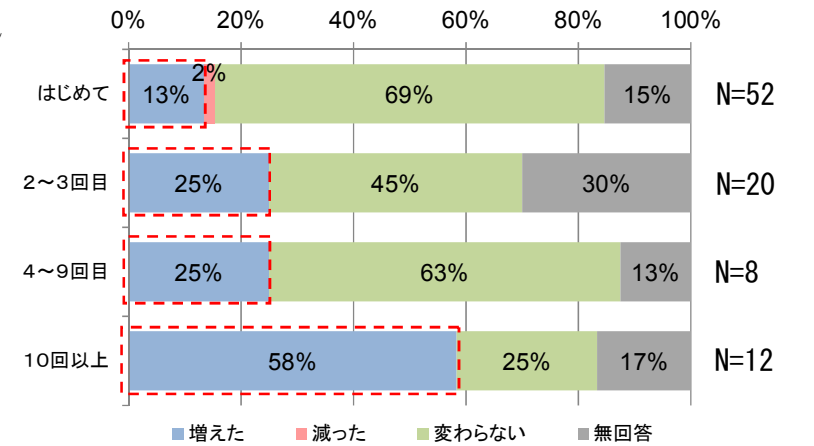
【4】みんなのひろばを利用してみた満足度

- 来訪回数別の満足度を見ると、「はじめて」来訪した方の8割が「満足」（非常に満足+やや満足）と回答。
- さらに、10回以上のリピーターでは、100%が「満足」（非常に満足+やや満足）と回答。
- ひろばに対する満足度は非常に高いことが伺える。



【5】来街頻度の変化

- みんなのひろばに10回以上来訪されている方の約6割は、来街が「増えた」と回答。
- ひろばへの来訪回数が増えるに従って、来街頻度も「増える」傾向にある。



資料：みんなのひろば利用者アンケート毎月平日・休日の隔週調査（H27.1～4月の調査結果）

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.3 多目的スペースの利用状況（常時カウント調査結果）

	平日	休日
月別の変化	<ul style="list-style-type: none"> 平均利用者は、3月以降、約30人/日に増加。 うち、約20人/日が休憩や談話などに利用する。 活動別の割合は、4月以降、休憩利用者が7割を超え、施設で友人と会話をしたり、幼児を連れてお弁当を食べに来る様子などが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントなどによる施設の占有使用の開催件数に影響するものの、占有使用が少ない月は、約50人/日、占有使用が多い月は、30~40人/日程度の利用がある。 買い物等で街なかに来訪された方が休憩で利用したり、トイレ利用に訪れたりする様子が見られる。
季節別・曜日別の利用者変化	<ul style="list-style-type: none"> 曜日別の日平均利用者数について、2ヵ月単位の季節毎に比較すると、平日については、水曜日が相対的に少ないものの大きな差異はない。 また、休日については、土曜日よりも日曜日の利用者が多い傾向にある。 	

図 曜日別の日平均利用者数

図 日平均利用者数の曜日別割合（半年間の集計）

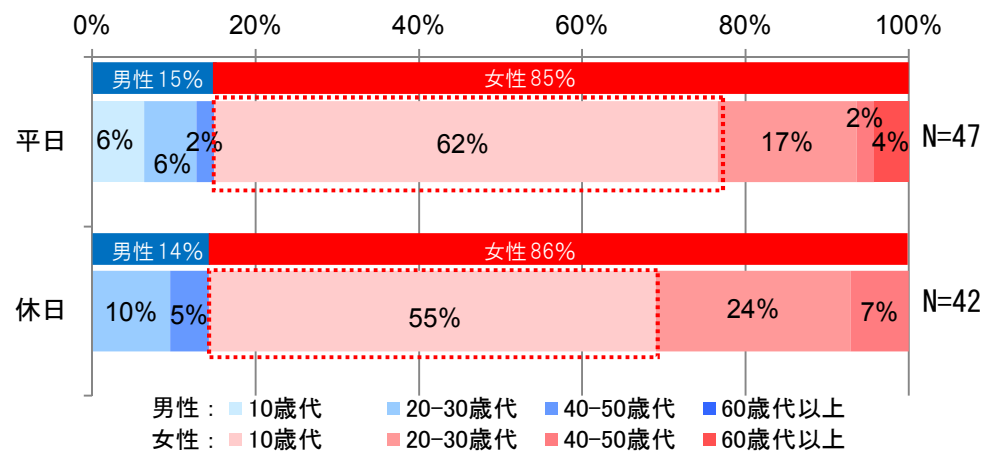
資料：多目的スペースカウント調査結果（常時調査）

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.4 多目的スペースの利用者特性（利用者アンケート調査）

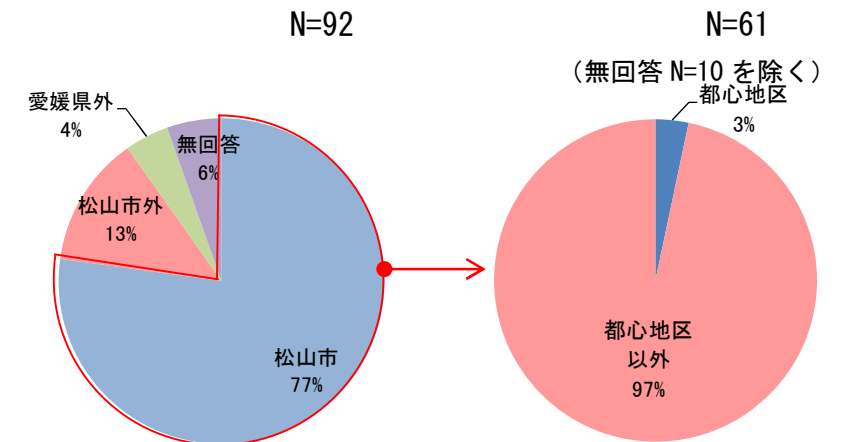
【1】回答者属性

- 平日・休日ともに男性が約15%、女性が85%。
- 平日・休日ともに、全回答者の約6割が10歳代の女性。



【2】来訪元（居住地）

- 全回答者の約8割は松山市内の居住者。
- 施設来訪者のうち、都心地区外の郊外から来訪する方がほとんどとなっている。

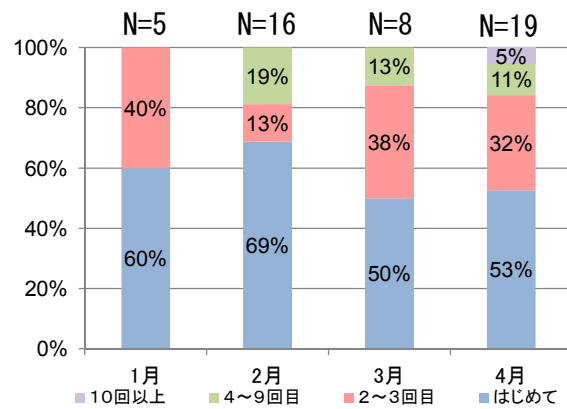


※都心地区：巻末のエリア図参照

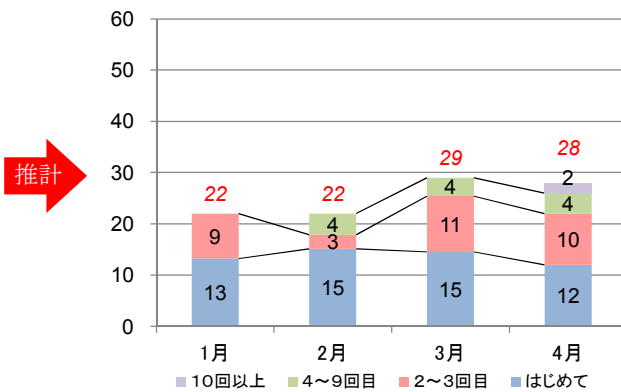
【3】来訪回数

- 「はじめて」訪れた方は、平日では、約15人/月（推計値）。
- 3月以降2~3回目のリピーターも約10人/月（推計値）。
- ひろばに比べると4回目以上のリピーターはまだ少ない状況。

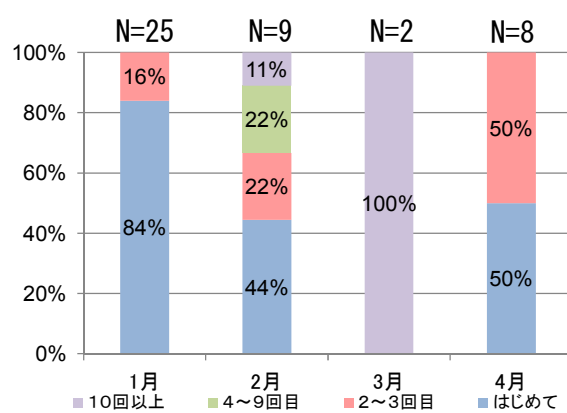
a-1. 平日の来訪回数割合



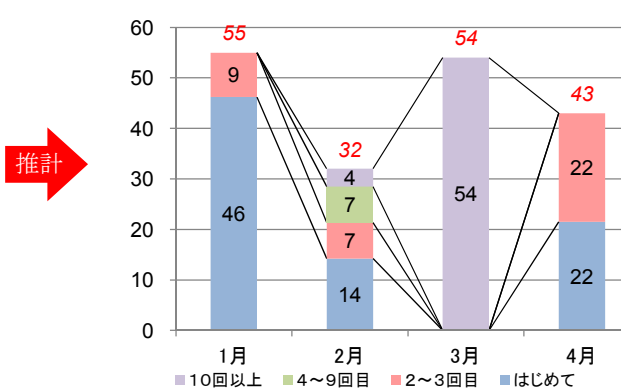
a-2. 平日の来訪回数別の人数（推計値） （=平日の割合×利用者カウント数）



b-1. 休日の来訪回数割合



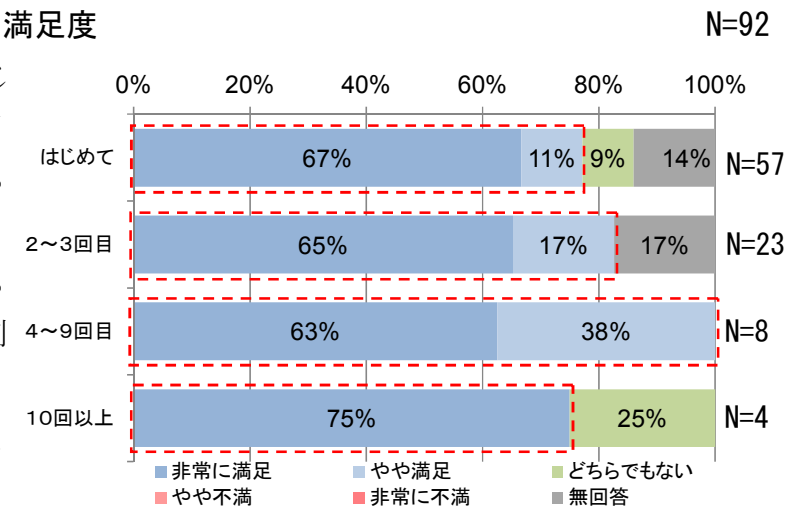
b-2. 休日の来訪回数別の人数（推計値） （=休日の割合×利用者カウント数）



注) 推計値のため、四捨五入により合計値が合わない場合がある。

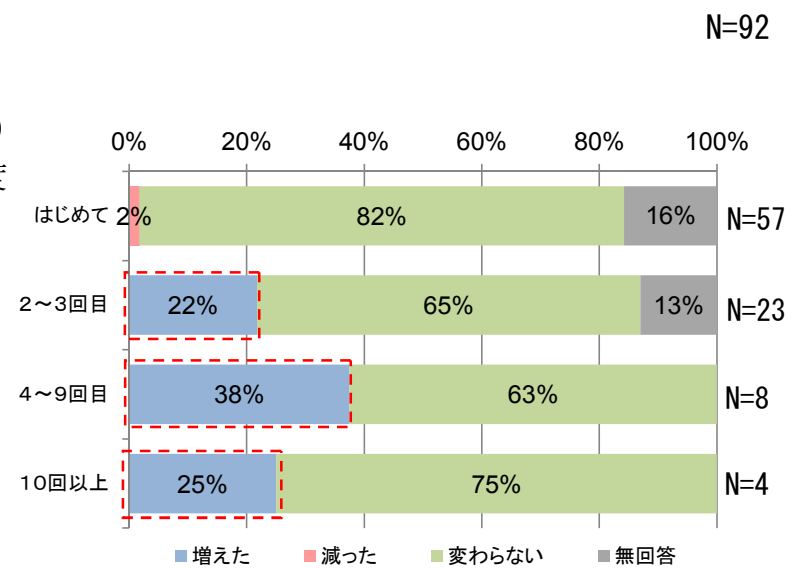
【4】多目的スペースを利用してみた満足度

- 来訪回数別の満足度を見ると、「はじめて」来訪する方でも約8割が「満足」（非常に満足+やや満足）と回答。
- 2~9回目の方は、8割以上が「満足」（非常に満足+やや満足）と回答。
- 特に10回以上のリピーターは約8割が「非常に満足」と回答。
- 多目的スペースも利用者からの満足度は高いことが伺える。



【5】来街頻度の変化

- 多目的スペースに複数回（2回以上）来訪している方の2~3割は来街頻度が「増えた」と回答。
- ひろばに比べると、施設への来訪が来街頻度の増加に大きく影響はしていないものの、来訪頻度の増加に伴い、来街頻度が「増える」傾向にある。



資料：みんなのひろば利用者アンケート毎月平日・休日の隔週調査（H27.1~4月の調査結果）

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.5 みんなのひろば・多目的スペース占用使用実績

	多目的スペース		ひろば		全体	
	申請件数	参加人数	申請件数	参加人数	申請件数	参加人数
11月	14件	163人	0件	0人	14件	約160人
12月	22件	385人	4件	約190人	26件	約580人
1月	17件	220人	0件	0人	17件	約220人
2月	19件	262人	1件	約20人	20件	約280人
3月	15件	373人	7件	約360人	22件	約730人
4月	19件	269人	2件	約20人	21件	約290人
合計	106件	1672人	14件	約590人	120件	約2,260人

2.6 多目的スペース占用使用実績

- ・オープン半年間の占用使用は106件、プログラム参加者は、延べ1,672人となっている。
- ・3月には、地元のスプリングフェスタと連携したイベントの開催により、当施設の周知にも繋がった。

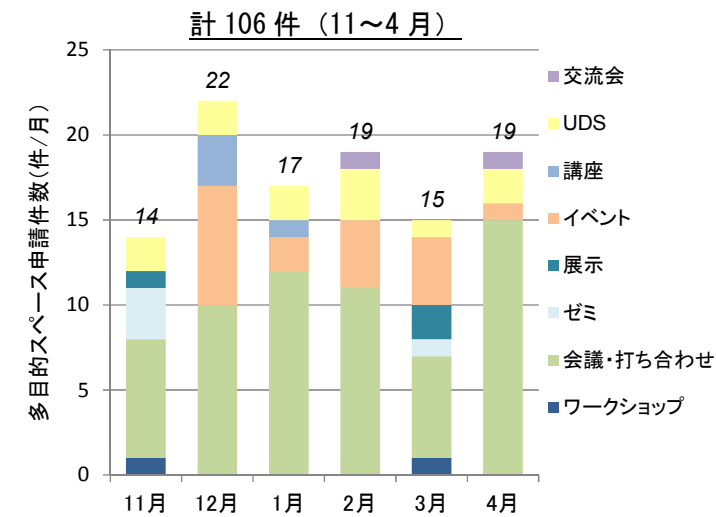


図 多目的スペースの申請件数

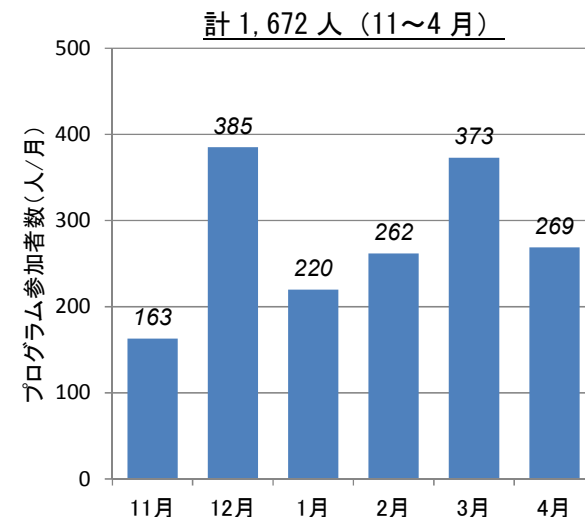


図 多目的スペースのプログラム参加者

2.7 みんなのひろば・多目的スペース利用者総括

【オープン半年間の利用実績総括】

	多目的スペース	みんなのひろば
平均利用実績	約1,160人/月	平日:約2,100人/月 休日:約2,250人/月
総利用実績	約6,900人/6ヶ月	平日:約12,600人/6ヶ月 休日:約13,500人/6ヶ月

注) みんなのひろばの平均利用実績は、平日21日、休日9日で換算した推計値。総利用実績は、6ヶ月を乗じて換算した推計値

2.8 ひろばを活用した社会実験自主事業関連のプログラムの様子

- ・事務局の単独プログラムだけではなく、地元商店街・住民・既存施設と連携した企画を実施。

■防災復興イベント <H27.3.7(土)>

<概要>

- ・松山市主催の防災・復興支援イベント「防災まつやま」において、みんなのひろばでのキャンドル(祈り)、震災関連の写真投影、東雲中学校・高等学校のハンドベル演奏を開催。



▲まちなかキャンドル



▲ハンドベル演奏

■ものづくり(DIY)ワークショップ <H27.3.14(土)>

<概要>

- ・「みんなのひろばWS」からはじまったDIYベンチづくり。
- ・周辺のマンション住民等へチラシを配布し、一般市民参加のもと、サイコロベンチへのお絵かきを実施。



▲アクリル板へのお絵かき



▲サイコロベンチの組み立て

■みんなのまち(てくるんとの合同企画) <H27.3.21(土)>

<概要>

- ・てくるんの3周年記念イベントとタイアップし、段ボールを使った家や電車などのワークショップを開催。
- ・制作したものをてくるんからひろばに運び、ひろばにて、「みんなのまち」と題して作品を展示。



▲てくるん前での段ボール工作



▲みんなのまちづくり

■スプリングフェスタとの連携企画(ひろばでのお菓子撒き) <H27.3.22(日)>

<概要>

- ・毎年恒例のお城下スプリングフェスタにて、ひろばを利用したお菓子撒きイベントを開催。
- ・当日は160人の方々が参加。



▲ひろばの丘からのお菓子撒き



3. ひろば・多目的スペース周辺地域の環境変化

3.1 みんなのひろば・UDCM 周辺環境への影響（詳細は「別紙1. 参照」）

【1】調査概要

■周辺店舗・住民を対象としたアンケート調査

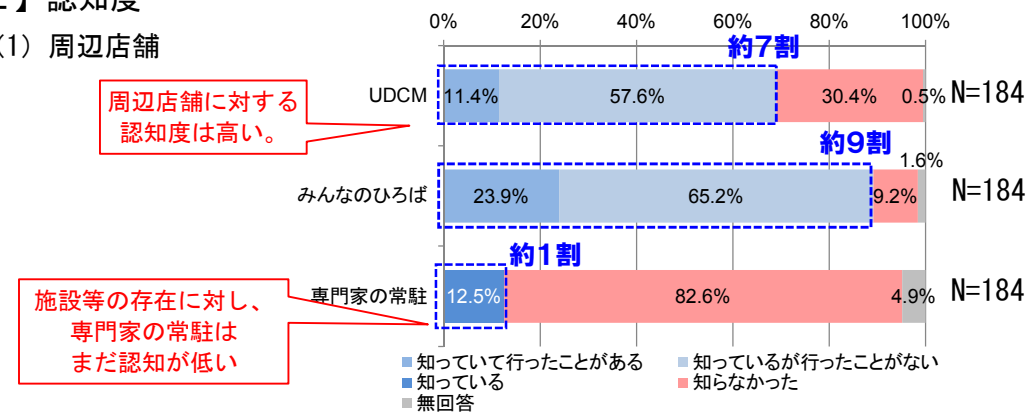
概要	店舗	住民
配布数	188	218
回収数	184	64
回収率	97.9%	29.4%
備考	訪問配布・回収	①マンション (60/211=28.4%) ②近隣民家 (4/7=57.1%)



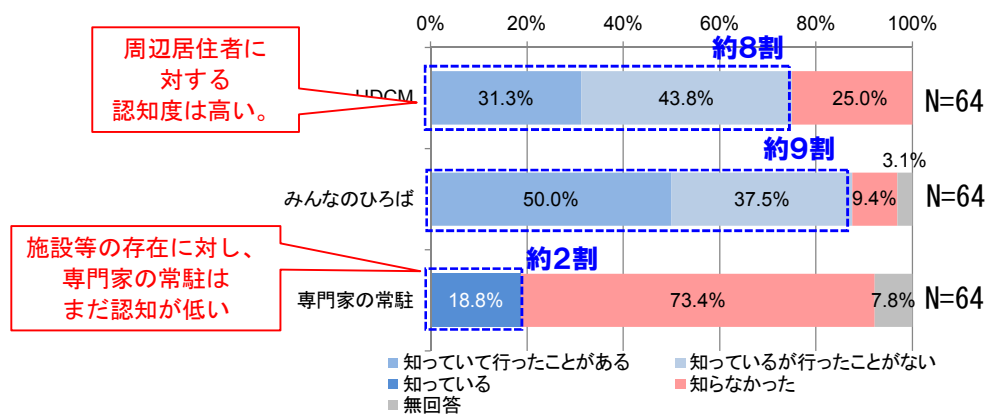
図 アンケート配布エリア

【2】認知度

(1) 周辺店舗

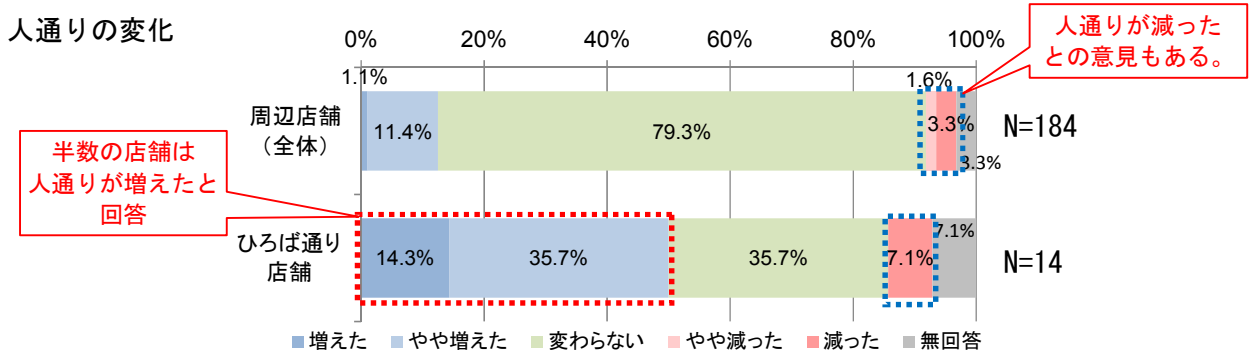


(2) 周辺居住者

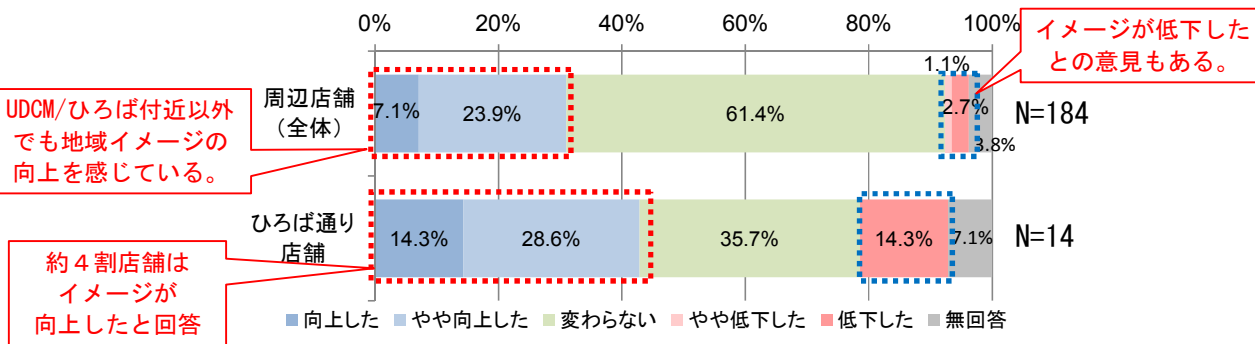


【3】周辺店舗が感じる環境変化

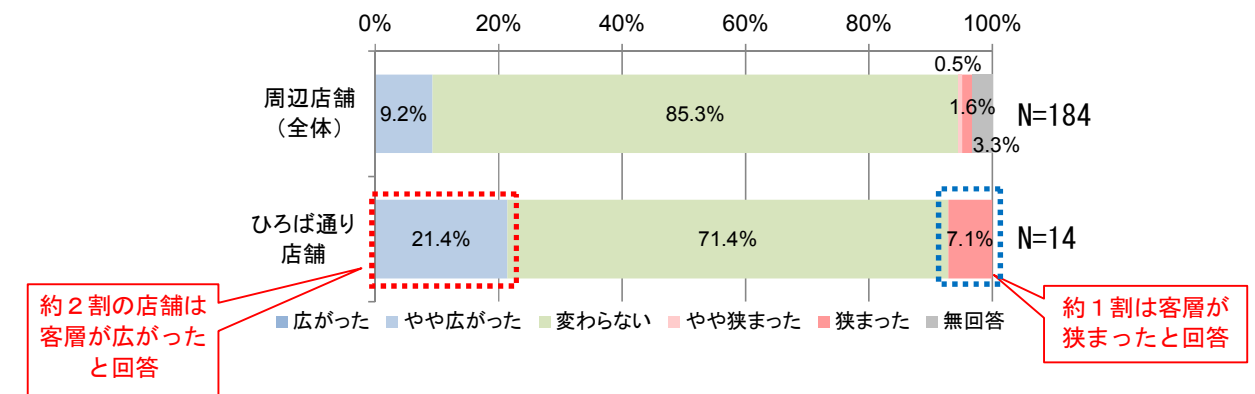
(1) 人通りの変化



(2) 地域のイメージ変化



(3) 客層の変化



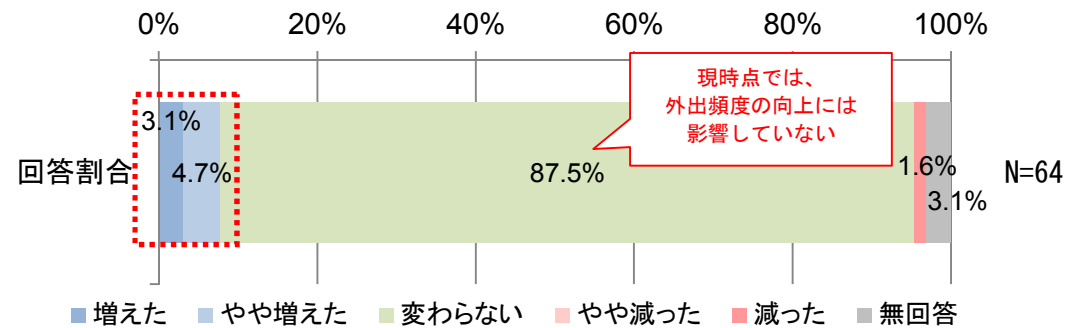
資料：周辺店舗・居住者アンケート調査（H27.3月実施）

3. ひろば・多目的スペース周辺地域の環境変化

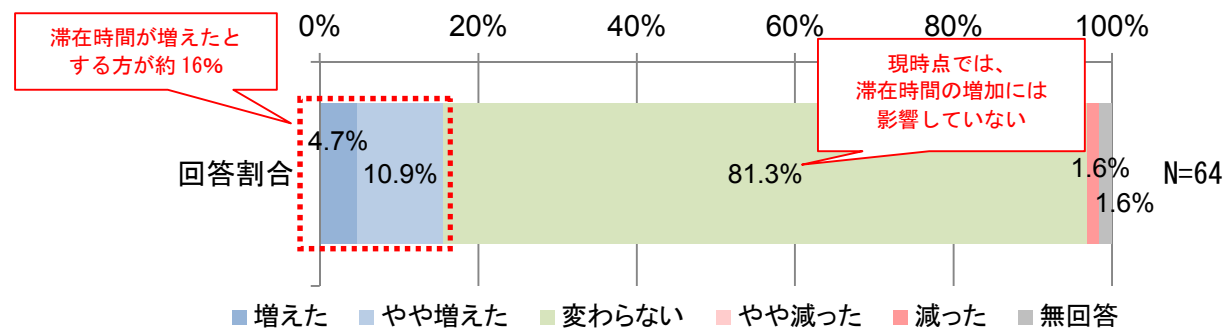
【4】周辺居住者が感じる環境変化

N=64

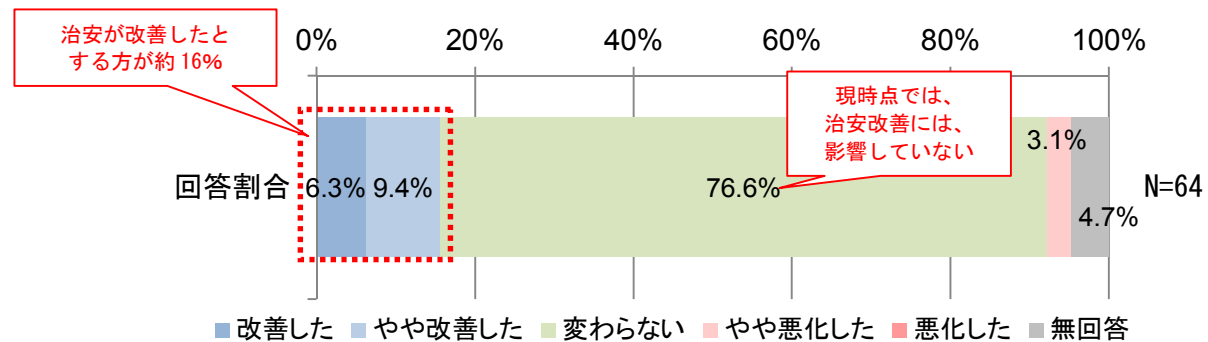
(1) 街なか周辺への外出頻度



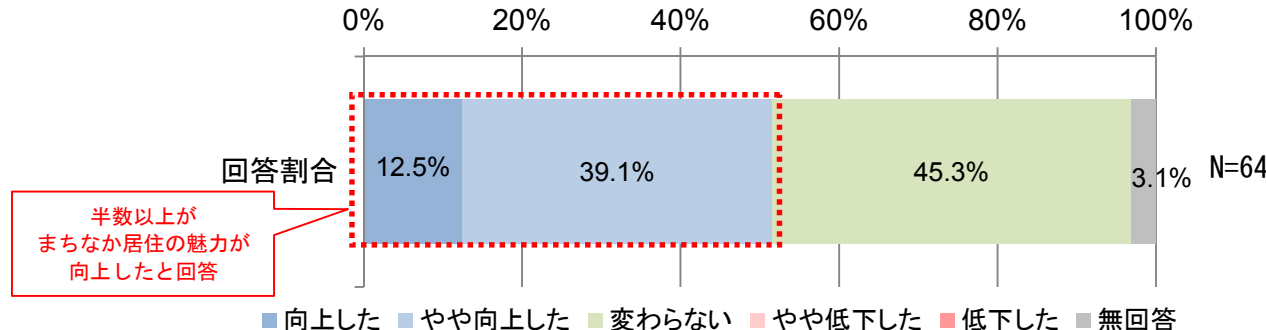
(2) 外出時の街なかでの滞在時間の変化



(3) まちの治安の変化

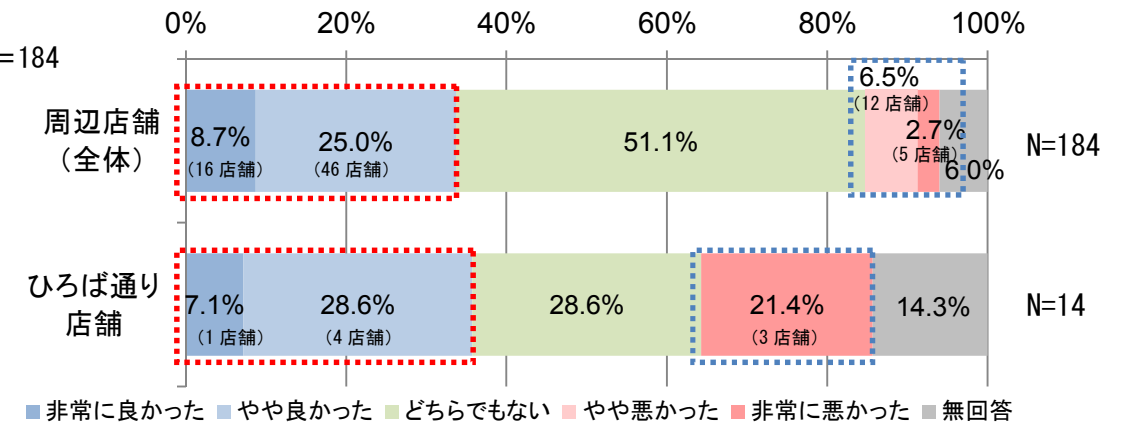


(4) 街なか居住の魅力の変化



【5】UDCM・みんなのひろばが出来たことに対する意見

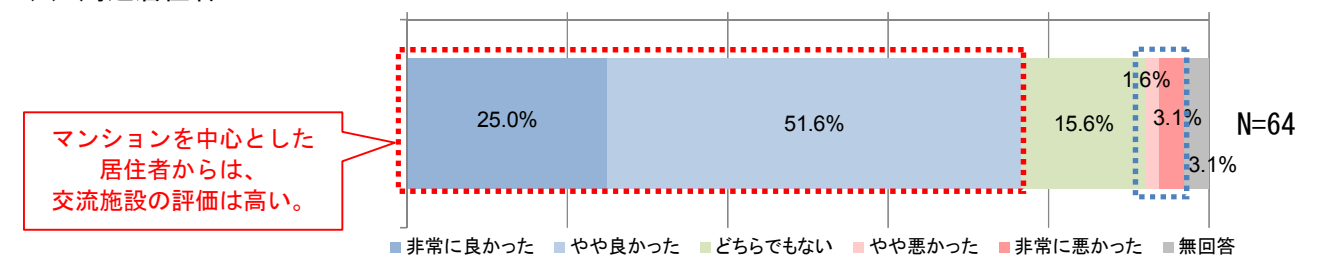
(1) 周辺店舗 N=184



主な具体的な意見 (⇒別紙-2 p.13-14 自由意見の概要を参照)

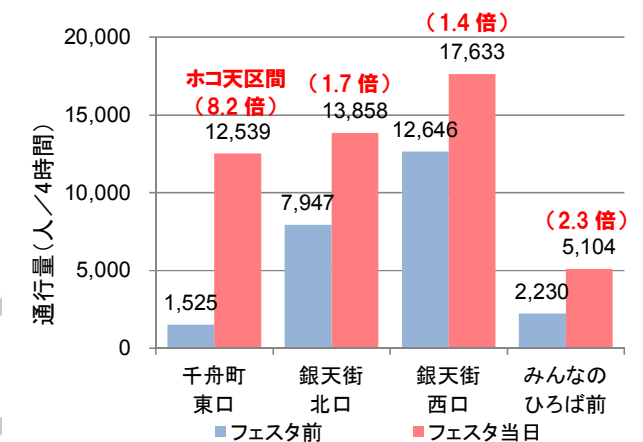
非常に良かった・やや良かった	非常に悪かった
UDCMについて <ul style="list-style-type: none"> ・いつも若い人達が大勢いて、活気に満ち溢れている。 ・毎週お弁当を食べるときに利用している。 ・センターの照明で夜でも明るい。 みんなのひろばについて <ul style="list-style-type: none"> ・家族連れがゆっくりできる ・子供たちが走って遊んでいる姿が見られる ・街なかに子供の遊び場・ひろばが出来たのでよかった。 ・美観が気持ちいい/自然や緑の空間が気持ち良い 共通 <ul style="list-style-type: none"> ・人通りが増え、ウィンドウを見てもらえる機会が増えた。 ・若い人の姿をよく見る。 	UDCMについて <ul style="list-style-type: none"> ・外から見て関係者しか入れないのではないかと思えた。 ・アーバンデザインが出来た事でうちの店を見ない方が多くなった。自己満足はやめてほしい みんなのひろばについて <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が無くなり、客が減るなど悪影響があった。(複数) ・子供の飛び出しが多く、車で通りにくい 共通 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時に人だかりで営業妨害になった。 ・イベント時に店の前が汚れた

(2) 周辺居住者 N=64



【6】スプリングフェスタ開催時の通行量

- ・スプリングフェスタの影響で通行量は大きく増加、特に、歩行者天国であった「千舟町東口」を除いて、「みんなのひろば前」が約2.3倍と最も多かった。
- ・スプリングフェスタと連動した企画を実施したことも影響していると思われる。



資料：周辺店舗・居住者アンケート調査 (H27.3月実施)

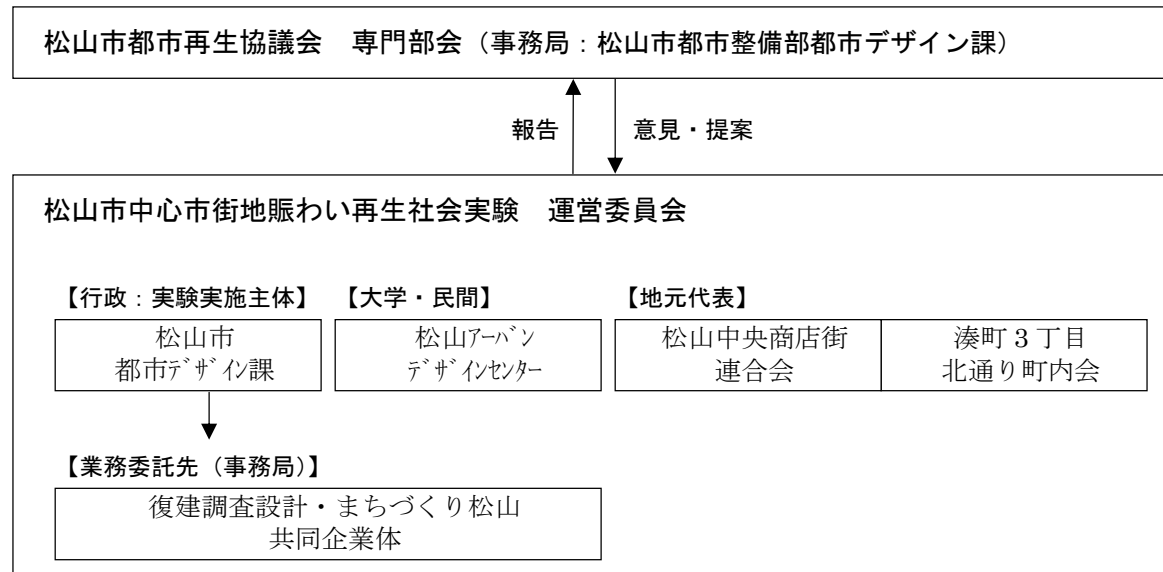
4. ひろば・多目的スペースの管理・運営

4.1 管理・運営の見直し・改善について

・毎月1回、運営・管理に関しての会議を開催。

運営委員会	開催日時	議題
第1回	H26.12.5(金)	前回の専門部会にて提示済み
第2回	H27.1.9(金)	
第3回	H27.2.6(金)	
第4回	H27.3.6(金)	1. オープン4か月の運営状況報告 2. みんなのひろば占用申請の許可について 3. 管理・運営上の審議事項 4. 管理・運営上の課題 5. その他
第5回	H27.4.9(木)	1. オープン5か月の運営状況報告 2. みんなのひろば占用申請の許可について 3. 管理・運営上の審議事項
第6回	H27.5.11(月)	1. オープン6か月の運営状況報告 2. 管理・運営上の審議事項



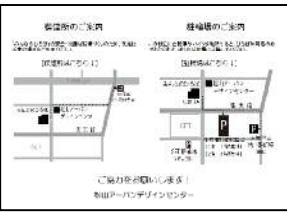


(参考)



【運営委員会の役割・機能】

- ・定期的（月1回程度）な運営状況の連絡会議
 - ・運営上の課題に対する改善・見直し対応についての検討（報告）
 - ・利用ルールの見直し
 - ・みんなのひろば占用使用（活動内容）に対する審査
- ※アーバンデザインセンター1Fを使用する、近隣への影響が少ないと判断される使用については、松山市及びアーバンデザインセンター等の事務局にて適宜判断する。

・運営委員会での討議内容を踏まえ、適宜、管理・運営を見直し・改善。

分類	討議内容・意見等	対応状況
啓発活動	喫煙・タバコのポイ捨て	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙可能場所の情報をマップやカフェボード等で案内していく。 ・ひろば内の喫煙については、引き続き声掛けで注意を行う。(HPブログ等でも呼びかけ中)   
	ゴミのポイ捨てについて	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のマナー向上を図るよう、受付学生スタッフ等と啓発ポスター・チラシを作成。(HPブログ等でも呼びかけ中)  
占用使用	・個展などでの販売行為	・施設内での 金銭の授受を伴う販売行為は、禁止 として、作品の展示会后、個別に販売活動を行うことを基本として、随時、運営委員会にて内容を判断する。
	・婚活イベント	・ 公的機関主催の婚活イベント以外 は基本的には、 許可しない方針 とする。
利用時間	・利用者ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者意見を参考に管理・運営側として、必要があれば季節に応じて柔軟に対応。 ・地元としても休日を20時程度まで延長することは問題ないと考ええる。
その他	・ひろば前面道路の通行量	・商店街通行量調査と合わせて 毎月調査を実施 する。
	・周辺裏路地マップの作成	・施設と地元地域がお互いメリットを共有しながらやっていくことが重要なので、店舗などとも コミュニケーションを取りながらマップ作成 を行っていく。(実施中)

4. ひろば・多目的スペースの管理・運営

4.2 利用時間について

(1) 利用実態

- ・温暖な気候になった4月以降のひろば等の利用状況を見ると、特に休日において、閉館直前までひろばの利用者が多い状況が見受けられた。



図 5/2 (土) 18:00 時点のひろば様子
(※写真左側の集団は、当日施設を占有使用した青年会議所の方々)

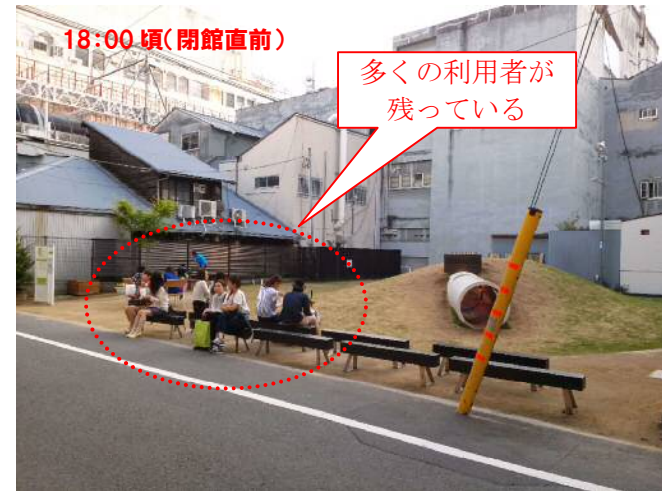


図 5/4 (月・祝) 18:00 時点のひろば様子



図 5/24 (日) 18:00 時点のひろば様子

(2) 利用者ニーズの把握

- ・利用時間について利用者へのアンケート調査を実施。

松山アーバンデザインセンター・みんなのひろばの 利用時間についてご意見をお聞かせください

最近では、気候も暖かくなり、これから更に日が長くなってきます。そこで、今後の利用時間の参考にさせていただきたく、利用者の皆様に、利用時間に対するご意見を伺うアンケートを実施しております。ご協力をよろしくお願いいたします。

現在のご利用時間

平日 [月～金]
10:00～20:00



休日 [土日祝]
10:00～18:00



問1. 松山アーバンデザインセンター(多目的スペース)の利用時間についてどのように感じられますか。平日・休日それぞれについてお答えください。また、その理由もお答えください。

Q 平日の利用時間 1. 今のままでよい (⇒問2へ)
2. 変更してほしい

Q 休日の利用時間 1. 今のままでよい (⇒問2へ)
2. 変更してほしい

Q 具体的にどのように変更してほしいですか。

(開館) (閉館)
[現在] 10:00 ~ 20:00

[変更] : ~ :

<変更理由>

Q 具体的にどのように変更してほしいですか。

(開館) (閉館)
[現在] 10:00 ~ 18:00

[変更] : ~ :

<変更理由>

問2. みんなのひろば(芝生ひろば)の利用時間についてどのように感じられますか。平日・休日それぞれについてお答えください。また、その理由もお答えください。

Q 平日の利用時間 1. 今のままでよい (⇒以上です。)
2. 変更してほしい

Q 休日の利用時間 1. 今のままでよい (⇒以上です。)
2. 変更してほしい

Q 具体的にどのように変更してほしいですか。

(開館) (閉館)
[現在] 10:00 ~ 20:00

[変更] : ~ :

<変更理由>

Q 具体的にどのように変更してほしいですか。

(開館) (閉館)
[現在] 10:00 ~ 18:00

[変更] : ~ :

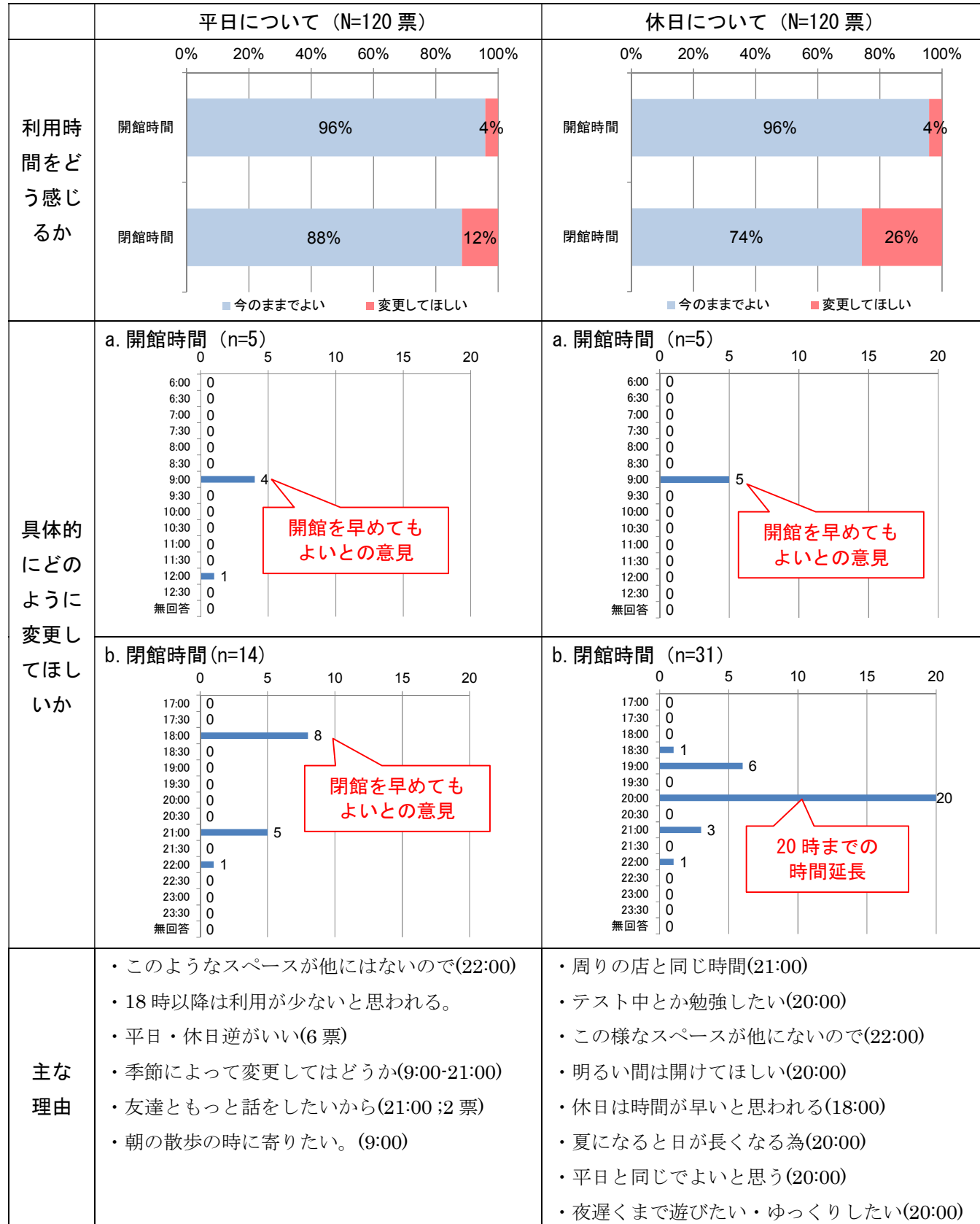
<変更理由>

性別	1. 男性	2. 女性					
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代以上
ご職業	1. 学生	2. 会社員	3. 自営業	4. 主婦・主夫	5. 公務員	6. その他()	
調査時間	時 分 頃						

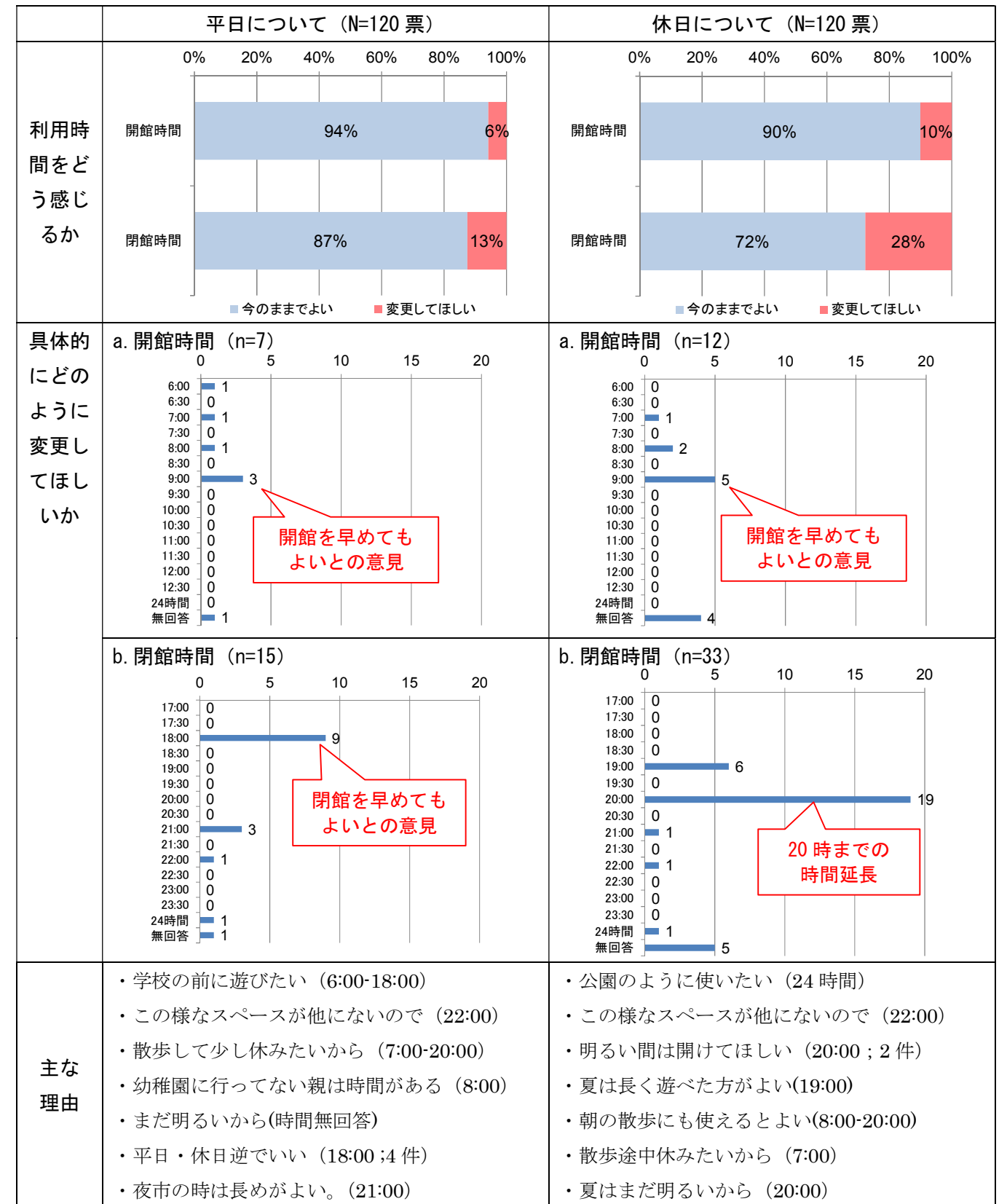
4. ひろば・多目的スペースの管理・運営

(3) アンケート調査結果

①多目的スペース



②みんなのひろば



■利用時間の見直し(案)について (※6月下旬～9月末の期間)

①多目的スペース : <平日>10:00~20:00 <休日>10:00~20:00

②みんなのひろば : <平日>10:00~20:00 <休日>10:00~20:00

ただし、土曜夜市(6/20~8/1の土曜日)は~21:00まで

5. 現状課題の整理と今後の進め方

5.1 本社会実験が目指すところを踏まえた課題と今後の進め方について

現状及び課題

【1】一般利用の実績について

【現状】利用者数は着実に増加（多目的スペース・みんなのひろば）

＜課題＞子育て世代の利用（ひろば）、中高生の利用（多目的スペース）を中心とした利用を延ばし続けることでよいのか？

【2】情報発信機能について

【現状】行事予定・活動報告・日常の出来事等を施設やHP（ブログを含む）で随時発信

＜課題＞まちづくりの拠点としての情報発信ができていない。
何を発信すべきかが明確になっていない。

【3】占用使用の実績について

【現状】申請件数、行事参加者は着実に増加（多目的スペース）

＜課題＞既存団体での完結した会議使用が多く、団体間・世代間交流や新たな活動に発展していない。（単なる貸スペース化しつつある懸念）

【4】地元との連携について

【現状】周辺地域の認知度や評価は良好

＜課題＞地元や住民と連携した活動が定着していない。
プロモーションとしての賑わいイベントは一定の成果（認知度等）を得られたものの、今後、「賑わいイベント」だけで地域に波及するまちづくりに繋がるのか。

進め方（討議のポイント）

⇒誰をターゲットに、何を指して、どのように新たな「利用層」を広げるのか？

（社会人、まちづくり活動、若者への啓発、まちなかにあることの付加価値、まちの情報発信、賑わい創出）

⇒まちづくりの拠点として何を情報発信していくべきか？

（開発プロジェクト（ハード、ソフト）、人材情報・マッチング、模型展示、パネル展示、ラジオなど）

⇒活動団体の連携や交流、更には新たな活動チームを生み出すためにはどうすればよいか？

（テーマ別の活動、リーダー、交流（地域間、世代間）、M' Bar、メルマガでの情報発信など）

⇒地元地域と一緒に活動していくにはどうすればよいか？

（賑わいイベント、ひろば・施設の管理・運営、情報共有、サポーター、歴史勉強会、写真展など）

共通課題

「量」から「質」へ転換が必要

本日の専門部会の場にて具体策を討議

5. 現状課題の整理と今後の進め方

5.2 スケジュール（案）

		平成 26 年度										平成 27 年度												
時期		7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H28/1月	2月	3月		
施設整備		駐車場解体	本格工事			オープン												1周年						
効果検証	ひろば	利用者カウント (月4日平休)																						
		利用者アンケート (月4日平休)																						
	UDC	利用者カウント (毎日)																						
		利用者アンケート (月4日平休)																						
	占用	使用者アンケート (随時)																						
	街頭	来街者アンケート (定期)						●12/27 (1ヶ月)							○ (半年後)					○ (1年後)				
企業・店舗 住民	アンケート (定期)									● (3ヶ月)				○ (半年後)					○ (1年後)					
ひろば前道路の通行量調査 (毎月平日・休日 各1日)										● (5ヶ月)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アーバンデザインスクール (月2回、金曜日)											● (4/11)				● (発表会)									
自主事業	人が集まる・回遊する	周辺情報案内								既存のチラシを常設（駐輪・バリアフリー等） ・みんなのマップ（受付スタッフ自作マップ） ・開発プロジェクト関係の情報・写真等														
		賑わいイベント		●	●			●	●	●	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	交流会								● 2/27		● 4/11		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	まちづくりを学ぶ・考える	まちなか図書館									雑誌：12冊 / 絵本：30冊													
まちの展示会 (写真・絵画・俳句)										WS結果展示/模型展示		●	◇		◇		◇		◇		◇			
【一般市民・団体活動】（占用使用）										大学・NPO など各種団体による会議・ワークショップ等での使用（施設の使用申請をうけるもの）														
プログラム等	フォーラム (全2回)					● 第1回													○ 第2回					
	ワークショップ (全6回)		● 第1回	● 第2回								● 第3回	○ 第4回	○ 第5回	○ 第6回									
	専門部会		● 第1回 (8/20)	● 第2回 (9/22)					● 第3回 (2/13)			● 第4回 (5/26)					● 第5回 (10月頃)					● 第6回 (2月頃)		
大街道・銀天街での恒例イベント※1)										・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ ﾌｪｽﾃﾞﾙ (3日間)			・俳句甲子園 地方大会 (6/13-14) (6/20-21)	・松山まつり ・俳句甲子園 (8/21-23)		・みんなの生活展 (10/17-18)								
毎月2,4土曜日ふるさと火曜産直市（大街道1丁目、2丁目アーケード内） ◇：地元商店街や周辺店舗（アンケートでの協力意向者）とのタイアップにより実施する自主事業 ●：事務局主体の自主事業・プログラム(○は予定)																								

6. その他

6.1 フォーラムの開催について（案）

1. 目的

松山アーバンデザインセンター設立及びみんなのひろばオープン1周年を記念したフォーラムを開催。UDCM・みんなのひろばでの1年間の活動報告を行うとともに、今後の活動展望等について、市民への意識啓発・共通認識を図ることを目的に開催する。

2. 日時

平成 27 年秋頃

⇒ゲストや企画内容についてご意見を伺いたい。

6.2 第5回専門部会の次第（案）

日時：平成27年秋ごろ

場所：調整中

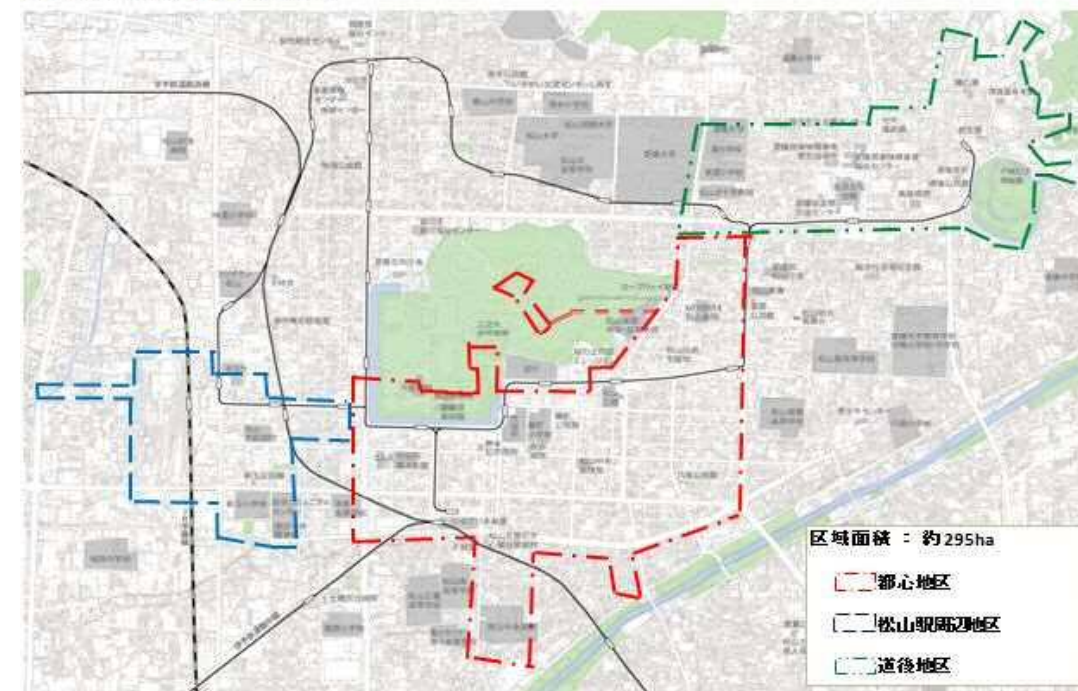
議題：

1. 第4回専門部会の意見
2. 各種調査結果の報告
3. 活動状況の報告
4. 運営・管理の課題・見直し改善

（参考） 都市地区について（アンケート集計エリア）

・下図の「松山市中心市街地活性化計画区域」のうち、都心地区（赤枠）の範囲を示す。

松山市中心市街地活性化計画区域



地区名	町名
番 町	二番町2丁目
番 町	二番町3丁目
番 町	二番町4丁目
番 町	三番町2丁目
番 町	三番町3丁目
番 町	三番町4丁目
番 町	三番町5丁目
番 町	大街道1丁目
番 町	大街道2丁目
番 町	千舟町3丁目
番 町	千舟町4丁目
番 町	千舟町5丁目
番 町	花園町
番 町	湊町3丁目
番 町	湊町4丁目
番 町	湊町5丁目
番 町	南堰端町
番 町	柳井町1丁目
番 町	柳井町3丁目
東 雲	一番町1丁目
東 雲	一番町2丁目
東 雲	二番町1丁目
東 雲	大街道3丁目
東 雲	歩行町1丁目
東 雲	歩行町2丁目
東 雲	喜与町1丁目
東 雲	喜与町2丁目
東 雲	東雲町
東 雲	中一万町
東 雲	西一万町
東 雲	平和通1丁目
東 雲	勝山町1丁目
東 雲	勝山町2丁目
八 坂	河原町
八 坂	三番町1丁目
八 坂	千舟町1丁目
八 坂	千舟町2丁目
八 坂	湊町1丁目
八 坂	湊町2丁目
雄 郡	春日町
雄 郡	末広町
新 玉	三番町6丁目
新 玉	千舟町6丁目
新 玉	湊町6丁目